

九州大学工学部 創造工房建屋建設への寄附を募っています



ヒューマノイドプロジェクト
-第43回ROBO-ONEベスト32-



ロボコンチームKURT
-NHKロボコン2025本戦出場-



PLANET-Q -能代宇宙イベント各賞受賞-



鳥人間チーム
-鳥人間コンテスト2024滑空機部門3位-



ロボット技術研究会
-NHK「魔改造の夜」出場-

創造工房とは…

創造工房は、九州大学工学部の学生が自由な発想・創意・工夫を凝らしてオリジナルティーあふれる機械製作をおこなう施設です。2025年度は、5団体が活動しています。（各団体の詳細は裏面をご覧ください。）

活動場所不足という現状

現在、創造工房の活動スペースは不足しており、十分な活動が困難な状況です。この課題を解決するため、新規建屋の建設を計画していますが、建設には多額の資金が必要です。

ご寄附のお願い

皆様からのご寄附は、創造工房の様々な挑戦を成功させるために、新しい建屋建設費として大切に活用させていただきます。

次世代を担うエンジニアたちの夢と挑戦を支えていただけませんか？

詳細はこちら
ネーミングライツについてはこちら

本事業に関するお問い合わせ

工学部等事務部総務課庶務係

電話：092-802-2708

Mail: info.eng.isee@jimu.kyushu-u.ac.jp

寄附金の納付に関するお問い合わせ

総務部同窓生・基金課基金係

電話：092-802-2150

Mail: k-kikin@jimu.kyushu-u.ac.jp



2025年度創造工房団体紹介

各団体HP、紹介
動画はこちらの
QRコードへ



ヒューマノイドプロジェクト



九州大学ヒューマノイドプロジェクトは二足歩行ロボットを製作する団体です。活動目標として、ロボット格闘競技の世界大会ROBO-ONEでの優勝を掲げています。またその過程で「二足歩行ロボットの製作を通じたものづくりの基礎知識・技術の習得」と「競技大会や科学イベントにおける他のエンジニアとの交流」を目的としています。活動実績として、最近5年の間では九州大会のヒューマノイドカップでの二連覇、ROBO-ONEでの2大会連続ベスト8の経験があるなど毎年好成績を残し続けています。それだけでなく、オープンキャンパスや子供向けのイベントにてロボットの展示や試合の実演、さらにはロボットアームの操縦体験を行うなど小中高生にロボットやものづくりの魅力を伝える活動も行っています。

ロボコンチームKURT



九州大学創造工房ロボコンチームKURTは「NHK学生ロボコン」優勝を目標に日々活動しています。チームは3つの班に分かれており、制御を行うソフト班、回路制作を行う回路班、機体や機構の製作を行うハード班があります。また、「NHK学生ロボコン」だけでなく、「キャチロボバトルコンテスト」や「関西春ロボコン」に出場したり、「九州夏ロボコン」を開催したりすることで、他大学との技術交流も行っております。これらロボコンの活動を通じて、基礎的な加工法やプログラミングを実践、習得するだけでなく、工数への意識及び運営能力の向上を図り、技術者としての素養を磨いております。

PLANET-Q



PLANET-Qは、宇宙開発に関する九州大学のものづくりサークルです。主な活動内容として、ハイブリッドロケットの製作・打上、スペースバルーンの製作・放球、CanSatの製作・投下、モデルロケットの製作・打上を行っています。

【活動実績】○能代宇宙イベントへ参加。ハイブリッドロケットの打上・CanSatの投下に成功。○えひめ南予共同気球実験へ参加。スペースバルーンの放球に成功。○種子島ロケットコンテストへ出場。モデルロケットで審査員特別賞受賞。○伊豆大島共同打上実験へ参加。ハイブリッドロケットの打上に成功。○日本モンゴル共同気球実験に参加。スペースバルーンの放球に成功。

鳥人間チーム



九州大学鳥人間チームは、鳥人間コンテストの第4回大会（1980年）から2019年までに計37回滑空機部門に出場しており（滑空機部門が中止になった第14回大会を含む）、学生チームの中ではかなり古からの伝統と歴史あるチームです。また、OBには宇宙飛行士の若田光一さんもいらっしゃいます。2015年大会では滑空機部門において優勝、2019年大会では317.57 mのフライトを記録し滑空機部門第二位でした。また、2024年大会では414.62 mのフライトでチーム記録を更新しました。

ロボット技術研究会



九州大学ロボット技術研究会はロボットを製作し、複数のロボットコンテストでの優勝を目指しているサークルです。現在は飛行ロボットコンテスト、キャチロボバトルコンテスト、ROBO剣(剣道ロボット)など複数の大会への出場、優勝を目指しており、さらに新しい大会への出場も視野に入れています。今までには、キャチロボバトルコンテストやROBO剣で成績を残しており、昨年度のキャチロボバトルコンテストでは優勝することができました。メンバーは様々なものづくりサークルのOBで構成されており、所属していたサークル活動で得た知見を生かし合い、共にものづくりを行っています。